



報道発表資料の配付日時 10月11日(月) 10時00分

発表項目 (行事名)	「第9回まちづくりメイヤーズフォーラム」の開催について ～ポストコロナ時代の北海道のSmartな暮らしを目指して～		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>1 日時 令和3年11月16日(火) 14時00分～17時00分</p> <p>2 場所 京王プラザホテル札幌 2階 エミネンスホール (札幌市中央区北5条西7丁目2-1)</p> <p>※ 会場とオンライン(Zoom)の併用開催</p> <p>3 主催 北海道、(一財)北海道建設技術センター</p> <p>4 共催 北海道大学大学院工学研究院</p> <p>5 参加料等 無料 定員120名(会場)</p> <p>6 次第</p> <p>① 基調講演「未来の北海道の交通ネットワークのために今すべきこと」 北海道大学公共政策大学院教授 岸 邦宏 氏</p> <p>② 特別講演「サツドラホールディングスの地域コネクティッドビジネス」 サツドラホールディングス(株) 代表取締役社長兼CEO 富山 浩樹 氏</p> <p>③ パネルディスカッション ～ポストコロナ時代の北海道のSmartな暮らしを目指して～</p> <p>○ まちづくり事例紹介 「東神楽流 コンパクトタウンのつくり方」東神楽町長 山本 進 氏 「ICT化推進によるスマートタウンの構築」上士幌町長 竹中 貢 氏</p> <p>○ 「北の住まいるタウン」の目指す姿 北海道大学大学院工学研究院 研究院長 瀬戸口 剛 教授</p> <p>○ 瀬戸口研究院長をコーディネーターとするパネルディスカッション</p> <p>※詳細は別添チラシのとおり</p> <p>※参加登録サイト：<a href="https://sites3.net-convention.com/mayorsforum2021/">https://sites3.net-convention.com/mayorsforum2021/</a></p> <p>※本フォーラムは土木学会及び北海道建築士会認定CPDプログラムです</p>		
参考	<p>「北の住まいるタウン」とは</p> <p>人口減少・高齢化が急速に進む北海道において、持続可能なまちづくりを進めるため、「コンパクトなまちづくり」「低炭素・資源循環」「生活を支える」取組を一体的かつ連携させ、誰もが安心して心豊かに住み続けられるまち・地域づくりを目指す取組。</p>		
報道(取材)に当たって	「北の住まいるタウン」の推進の観点から、積極的な報道をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	同時レク
担当 (連絡先)	建設部建設政策局建設政策課 課長補佐 井馬 俊安 TEL 011-231-4111 (内線29-804) 直通 011-204-5284		



# 北の住まいるタウン 第9回

土木学会認定CPDプログラム

北海道建築士会認定CPDプログラム

# まちづくりメイヤーズフォーラム

テーマ：ポストコロナ時代の北海道のSmartな暮らしを目指して

日時：2021 11.16 火 14:00▶17:00  
(13:20開場)

会場とオンライン(Zoom)の併用開催

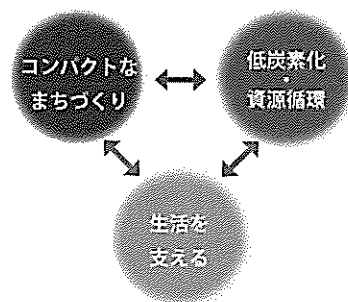
参加無料

定員120名(会場)

会場：京王プラザホテル札幌2階 エミネンスホール (札幌市中央区北5西7丁目2-1)

北海道では、「コンパクトなまちづくり」「低炭素化・資源循環」「生活を支える」取組を一体的に展開することにより、誰もが安心して心豊かに住み続けられるまち・地域「北の住まいるタウン」の取組を推進しています。

このフォーラムは「北の住まいるタウン」の推進の一環として、「ポストコロナ時代の北海道のSmartな暮らしを目指して」をテーマに、それぞれの地域でまちづくりに携わっておられる市町村長様、当該分野をご専門とする有識者様から、ご講演・事例紹介をいただくとともに、パネルディスカッションを行い、持続可能な地域づくりに向けた取組の契機となることを期待して開催するものです。



## 基調講演

未来の北海道の  
交通ネットワークのために  
今すべきこと



北海道大学公共政策大学院

教授 岸 邦宏 氏

## 特別講演

サツドラホールディングスの  
地域コネクティッドビジネス



サツドラホールディングス株式会社

代表取締役社長兼CEO 富山 浩樹 氏

パネルディスカッションテーマ「ポストコロナ時代の北海道のSmartな暮らしを目指して」

### ■ 事例紹介

- ① 東神楽町長 山本 進 氏 「東神楽流 コンパクトタウンのつくり方」
- ② 上士幌町長 竹中 貢 氏 「ICT化推進によるスマートタウンの構築」

### ■ 「北の住まいるタウン」の目指す姿

北海道大学大学院工学研究院 研究院長・工学院院长・工学部長 瀬戸口 剛 教授

■ パネリスト 岸 教授、富山 社長、山本 東神楽町長、竹中 上士幌町長

■ コーディネーター 瀬戸口 教授

--- 新型コロナ感染症対策について(来場の方へ) --- 開催に当たっては、新北海道スタイルなど新型コロナウイルス感染症対策を万全に実施します。  
 ● 座席は間隔を空けるよう配置し、ステージと客席の距離も十分確保します。 ● 会場入口にアルコール消毒剤を用意し、手指消毒をお願いします。  
 ● マスク着用をお願いします。 ● 当日「北海道コロナ通知システム」登録をお願いします。 ● 当日受付での検温により、37.5度以上の発熱のある方は入場をお断りします。

主催：北海道、一般財団法人 北海道建設技術センター

共催：北海道大学大学院 工学研究院

後援：国土交通省北海道開発局、北海道市長会、北海道町村会、

公益社団法人日本都市計画学会北海道支部 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 建築研究本部



# 第9回 まちづくりメイヤーズフォーラム

ポストコロナ時代の北海道の  
Smartな暮らしを目指して

## プログラム

- 14:00 開会挨拶
- 14:05 基調講演 (35分) 北の住まいるタウン  
「未来の北海道の交通ネットワークのために  
今すべきこと」
- 14:40 特別講演 (35分)  
「サツドラホールディングスの  
地域コネクティッドビジネス」
- 15:15 休憩 (5分)
- 15:20 パネルディスカッション (95分)  
「ポストコロナ時代の  
北海道のSmartな暮らしを目指して」
- 16:55 閉会挨拶

## 申込・参加方法 申込締切: 11月9日(火)

- 会場参加**
- ①申込サイト、またはFAX(本チラシの下記申込書をご利用ください)にてお申込みください。[先着120人]
  - ②当日会場へお越しください。

- オンライン参加**
- ①申込サイトからお申込みください。
  - ②ご登録メールアドレスへ接続IDを連絡しますので、当日までにZoomの視聴環境をご準備ください。
  - ③当日Zoomから、接続IDを入力してご参加ください。

### 【申込/問い合わせ先】

北海道 建設部 建設政策局 建設政策課  
担当: 高山 電話: 011-204-5284

【FAX】011-232-1147 (会場参加のみ)

【URL】<https://sites3.net-convention.com/mayorsforum2021/>

- 土木学会CPD単位登録申請を希望される方へ  
受講後、フォーラムにて得られた所見(学びや気づき)を100文字以上でまとめて、主催者へ提出してください。
  - 北海道建築士会CPD単位登録申請を希望される方へ  
当日会場で建築士会CPD番号(または建築士番号等)を確認させていただきます。
- ※他団体に提出する場合の方法については、各提出先の団体に事前にご確認ください。



## 登壇者のご紹介

岸 邦宏 氏 (北海道大学公共政策大学院 教授)

1970年北海道浜益村(現石狩市)生まれ。2021年6月より現職。専門は交通計画・都市計画。特に人々の交通行動や交通に対する評価・意識に関する分析手法構築や実例分析に取り組み、得られた成果をもとに課題解決策や政策の提言を行っている。近年は2030年度の北海道新幹線札幌開業時の北海道の交通体系のあり方について強く関心を持っており、北海道運輸交通審議会副会長や鉄道ネットワーク・ワーキングチームフォローアップ会議議長など、学識経験者として北海道庁や道内各地の交通政策、計画策定に携わっている。

富山 浩樹 氏 (サツドラホールディングス株式会社代表取締役社長兼CEO)

1999年札幌大学経済学部を卒業し、ダイカ(株)(現(株)あらた)を経て、2007年(株)サッポロドラッグストア入社。業務改革推進室長、営業本部長、取締役、常務取締役を経て、2015年に代表取締役に就任。翌2016年サツドラホールディングス(株)を設立(代表取締役社長)。以降、ドラッグストア事業を中心としながらもさまざまなグループ会社を擁し、事業を展開。現在は「ドラッグストアビジネスから地域コネクティッドビジネスへ」をビジョンに掲げ、さまざまな地域と連携を深め、多様なリソースを活用しながら、北海道の地域課題と向き合っている。

山本 進 氏 (東神楽町長)

1989年北海道大学法学部卒業。同年に東神楽町入庁。2012年東神楽町長就任。東神楽町は、旭川市、鷹栖町とともに旭川圏都市計画区域を形成しており、市街化区域や市街化調整区域を指定して秩序ある都市整備を推進し、まちのコンパクト化に努めている。現在は中央市街地にて、老朽化した公共施設を集約した複合施設を建設中。また「東神楽流スーパー健康長寿社会の実現」のため、健康食育タウン事業を展開し、町民のヘルスリテラシーを高めるとともに、インセンティブを設けて、健康のための努力を進んで行うよう取組を進めている。



竹中 貢 氏 (上士幌町長)

1971年上士幌町役場入庁、1994年教育委員会社会教育課長、2000年全国生涯学習まちづくり協会専務理事事務局長、2001年上士幌町長就任。「ふるさと納税」や「生涯活躍のまちづくり」など、多くの先駆的な取組を通し「人口増加」という地方創生の目標に対する成果を創出している。現在「SDGs未来都市」の選定を受け、「持続可能なまち」の実現を目指し、再生可能エネルギー・地産地消やICTを活用したビジネス創出の展開など、新たな取組を進めている。

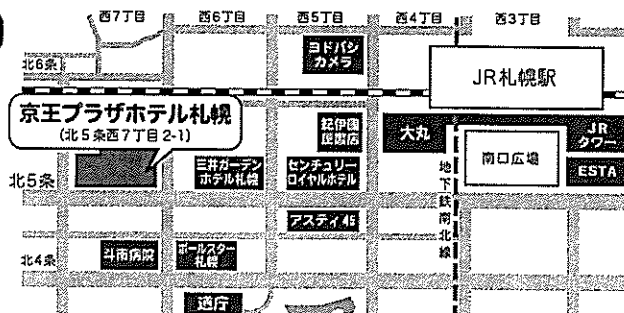


瀬戸口 剛 氏 (北海道大学大学院工学研究院教授、工学研究院長、工学院院长、工学部長)

早稲田大学理工学研究科博士課程修了。博士(工学)。北海道大学工学部建築工学科助手、同助教授を経て2010年より現職。副工学研究院長を経て2019年度より工学研究院長、工学院院长、工学部長。国土交通大臣表彰国土技術開発賞(2016年)、文部科学大臣表彰科学技術賞(2015年)、日本建築学会賞受賞(2014年)。専門は都市・地域計画。雪や寒さを考慮した積雪寒冷地域の都市デザインや、夕張市をはじめとする集約型コンパクトシティなどに取り組む。「北の住まいるタウン」検討協議会の座長も務める。



## Map



FAX参加申込書	所属名・職名	氏名	電話番号	CPD申請
				土木   建築
				土木   建築
				土木   建築
				土木   建築

※CPD申請を希望される方は、希望する団体(土木学会・北海道建築士会)を○で囲んでください